

善意

一、香典返し寄付

下東方

安藤小一

室生

父 忠式死亡

湯免

父 武一死亡

殿村新開

夫 晃一死亡

豊原

末永キミ

二、見舞返し寄付

野波瀬

高野芳雄

長女由美子死亡

野波瀬

白井武一 六一才

およしび

申し上げます

昭和51年11月26日から12月20日まで

で

沢江

末永圭亮

正博

上中小野

真崎広次

智允

野波瀬

中村久美

豊明

野波瀬

石津富士枝

真式

おくやみ

申し上げます

昭和51年11月26日から12月20日まで

同和問題講座 [12]

部落差別について(三) 差別の存続

同和对策審議会答申には、「心理的差別と実態的差別とは相互に因果関係を保ち相互に作用しあっている。すなわち、心理的差別が原因となつて実態的差別をつくり、反面では実態的差別が原因となつて心理的差別を助長するという具合である。そして、この相関関係が差別を再生産する悪循環をくりかえすわけである」と述べている。すなわち、部落差別は、言い伝えの偏見による差別(心理的差別)と、同和地区の低位の状態に対する差別(実態的差別)とが、互いに支えあつて差別を正当化し、

存続されてきたのです。偏見が差別を生み、その結果の実態がまた差別を強めるといふ悪循環がくりかえされてきたのです。最近耳にする声として「差別の偏見についてはわかるが同和地区がもつとしゃんとせんとなあ。」これは、生活の実態を差別されないように改めるべきだといふ意見です。差別されるがわに問題があるという見方です。当然のこととして、差別の解放は、その主人公である同和地区の人々の立ちあがりが必要条件です。しかし、こうした実態が、同和地区の人々の生来の人となりによつて現われているのでは、決してないのです。歴史の説明で述べたよ

湯免 刀柄晃一 四一才
豊原 山中正一 七四才
沢江 村田源治 六一才
殿村新開 大田由美子 六才

広報つづりの表紙 デザイン募集

家庭で広報みすみを綴つて頂く表紙のデザインを広く町民の皆さんより次の要領で募集することになりました。

- 一 図案 ① 自由作品(含写真)

うに、差別という極めて残酷な仕打ちによつて、私たちがつくつていったのです。「努力心がたりない。」「と軽々しくいう人もいますが、それは差別のきびしさを知らない傍観者がいうことです。もちろん、同和地区のほとんどの人々はまじめに努力し続けているのです。でも、余りにもギャップがありすぎるのです。実態を改革するということについては、戦後農村における個人々の努力もさることながら、農地改革など行政措置の力が大きいように、同和地区に対しても、今その行政措置がとられつつあるのです。お互いが、相手の非を責めあうのではなく、差別というあつてはならない問題を、一日も早くなくしていくために、お互いがわかりあい協力していくことに全力をあげたいものです。



④ 何で書いてもよろしい 提出先
です。 三隅町役場総務課
二 大きな なお作品の採用分につき
B4の用紙を縦に利用する ましてはお礼をさしあげ
三 ます。
三隅町広報委員会
昭和五十二年一月二十日

ゴミの年始収集は 五日 不燃物 六日、二十日

昨午町予算で、各衛生自治会に簡易焼却炉を設置して、ゴミの自家処理運動を展開してみなさんのご協力によりまして多大の効果をあげることができましたことはその後のゴミ収集量をみても歴然としています。

☆ゴミのじょうずな出し方
一、できるだけ水分を少なくする
一、袋のくちは結んで出す
一、かさばるものは小さくまとめる
一、収集日の朝出す
一、スプレー等は穴をあける
一、プロパンボンベ等の危険物は出さない